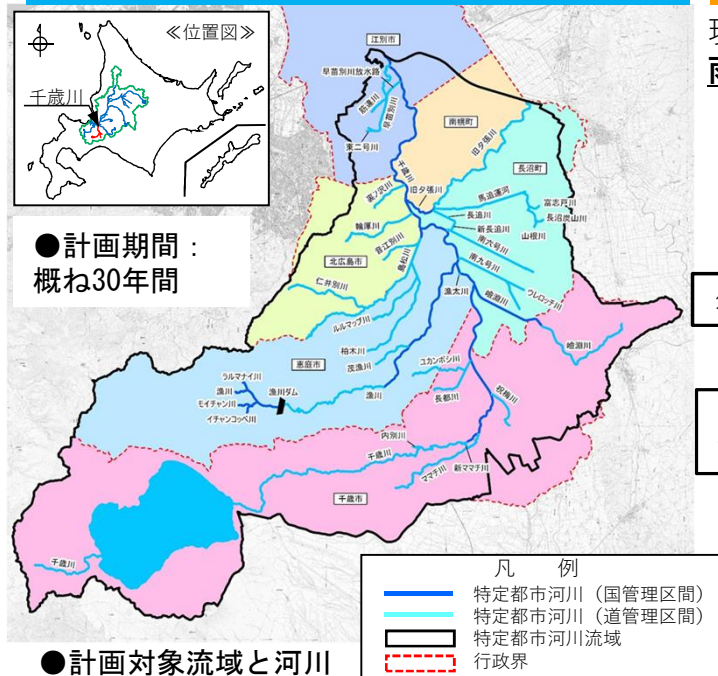


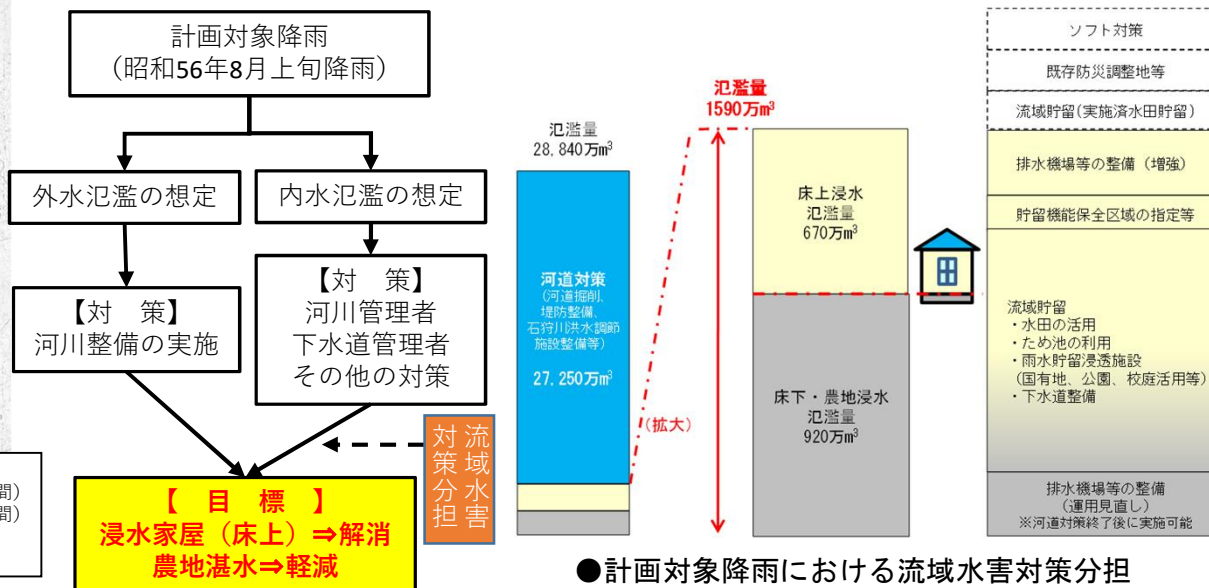
千歳川流域水害対策計画の概要

①計画期間と対象流域



②浸水被害対策の目標の考え方

現在進めている千歳川河川整備計画の目標である昭和56年8月上旬降雨（計画対象降雨）に対して、河川の整備のほか流域全体での対策により床上浸水の解消等を図る。



③千歳川流域水害対策計画における主な施策

特定都市河川等の整備

- ◆河川整備の加速化。
- ◆排水ポンプ場の機能増強や運転調整（排水規制のルール）の緩和等に向けた調査・検討を進め必要な対策を実施。
- ◆農業用の排水施設に係る事業を実施。
- ◆排水釜場整備を実施。
- ◆特定都市下水道の着実な整備の実施。



堤防整備



馬追運河排水機場



農業用の排水路整備

流域における雨水流出抑制対策

- ◆公共施設（学校・公園等）・公用地等への雨水貯留浸透施設の整備を検討。
- ◆水田の活用（「田んぼダム」）や、ため池の治水利用等を推進。
- ◆洪水や雨水を一時的に貯留する機能を有する土地について、「貯留機能保全区域」の指定に向けた検討を実施。



水田の活用（調整板設置状況）



ため池の活用



防災学校

浸水被害の拡大を防止するための措置

- ◆防災教育の機会創出等を行い、流域住民の水防意識の向上に努める。